

## [1]

- You **look** so happy today. Did something good **happen**?
  - ▶ 「～そうだ」と推測の意味とともに表すには look, seem, appear などを使い、SVCで表す。look はこれらのうち、そうだと思う度合いが最も高い動詞で、外見の情報を頼りに判断する際に使われる。seem は話し手の、主観的な判断で「～と思われる」、appear は客観的判断で「～のように見える」という意味を表す堅めの動詞。
  - ▶ something good「何かいいこと」 疑問文でも相手に肯定の答えを想定するときはanything ではなく something を使う。形容詞の位置に注目。後ろからの修飾である。
- This novel **will be translated** into Japanese soon.
  - ▶ 「翻訳されるでしょう」→受動態 助動詞の後ろは原形、の原則から、be+過去分詞が続くことになる。
- The fireworks display has **been canceled** because of the strong wind.
  - ▶ 与えられた has は、「中止になりました(→中止にされました)」という述語動詞の一部となる。「中止になりました」は、日本語からは時制が判断しづらいが、話し手が、「中止になった(そのため開催されない)」という今現在の情報として述べているものと判断し、現在完了形の受動態(have been+過去分詞)を用い、been canceledを入れる。
- I **made [cooked]** fried rice **for** my family last night.
  - ▶ 「だれかに何かをあげる[してあげる]」はSVOOか(SVO+to[for] ~)の文で表す。make(cook) の場合は for~ を使う。
- My shoes and socks **got wet**, so I **took them off**.
  - ▶ 主語の状態の変化を示しており、「ぬれた状態になった」と考え、SVCで表す。動詞 get は不完全自動詞でSVCの文型で主語の状態変化を述べるのに使う。
  - ▶ 「脱ぐ」は take off ~。目的語が代名詞の場合は take + O + off のように動詞の直後に置く。

## [2]

- We **talked about [discussed]** the problem for hours but **didn't reach** a consensus.
  - ▶ 「議論する」は talk aboutか discuss。talk は自動詞なので about が必要になるが、discuss は他動詞なので、目的語の前に前置詞は不要。使う動詞が自動詞か他動詞かを常に意識することが重要である。
  - ▶ 「～に達する」も日本語の感覚からは to を使って表すと考えがちだが、reach は他動詞なので前置詞は不要。
  - ▶ for hours = 「何時間も」。 **参考** for years 「何年も」、 for ages 「長い間」
- We **were caught [got stuck]** in a traffic jam and **missed** our flight.
  - ▶ 「(交通渋滞)につかまる」は be(get) caught in~ と受動態で表す。
  - ▶ **別解** get stuck in ~という表現もある。stick(～にくっつく・貼り付く)-stuck-stuck 「くっつけられた状態になった」
- The company **is being investigated by** the local police.
  - ▶ 「捜査されているところだ」 → 受動態の現在進行形
  - ▶ **参考** local は「その土地の、地元の、その地域に特有な」という意味で、「いなか」の意は含まれない。
- My parents **gave me** confidence, and they **made me happy**.
  - ▶ confidence (自信) は抽象名詞で、冠詞(a/an/the)はつかない。
- Who will **take care of [care for / look after]** your cat while you are away on vacation?
  - ▶ take care of は一時的な世話という意味で用いられ、ここでは最も適切。
  - ▶ care for は、自分自身で面倒が見られない人や物などを世話するという意味。
- I'm **getting along with** my classmates very well.
  - ▶ I'm = I am つまり、be動詞が与えられているので、現在進行形が適切と判断する。進行形のほうが「日々うまくやっている」という時間の流れを感じさせることができる。

[3]

1. (s)私(は)今朝は(v)寝坊して、学校に(v)遅刻してしまった。

I overslept this morning and got to school late.

- ▶ 主語は日本語にないが、話し手であるので、「私」とする。
- ▶ 述語動詞は、「寝坊して」「遅刻してしまった」と2つあるので、それぞれを節にして接続詞 and でつないで一文にする。
- ▶ 「学校に遅刻してしまった」を「学校に遅く着いた」と考え、get to ~ = 「~に着く」を用いる。lateは副詞。  
参考「~に着く」 → get to ~ arrive at(in)~, reach (get と arrive は自動詞, reach は他動詞)

2. (s)スマートフォンは世界中で広く(v)<sup>(受動態)</sup>使われています。

Smartphones are widely used all over [around] the world.

- ▶ 話題の焦点はスマートフォンなので、受動態で表して客観性を高めるのがよい。
- ▶ 主語「スマートフォン」は、日本語からは単複の判断がつかないが、「広く使われている」ので、複数形で表すのが適当。
- ▶ widely「広く」は副詞なので文末に置いても間違いではないが、修飾する動詞の近くに置くほうがわかりやすい。  
解答例のように、are widely used と受動態の be動詞と過去分詞の間に置くこともある。

3. この価格には(s)何が(v)<sup>(受動態)</sup>含まれていますか。

What is included in this price?

- ▶ 「含まれているもの」に焦点が置かれているので、受動態で表すのが適当。

4. 昨夜、(s)あなたは(o)私に(o)メールを(v)送りましたか。

Did you send me any emails [send any emails to me] last night?

- ▶ 主語は日本語では口に出さないが、英語では表現する。
- ▶ send は give 型(SVOO, <SVO+to+名詞>)
- ▶ any は、「(いくつか)あるかないか」が話題になっている疑問文で、数えられる名詞につけて用いられる。
- ▶ カタカナ語の「メール」は email (e-mail, E-mail)。単に mail とすると一般的に「手紙」「郵便物」の意味になる。

5. (s)あなたが(o)ドアを(c)開けた(v)ままにしておくと、(s)犬が(v)逃げてしまうよ。

The dog will run away if you leave the door open.  
If you leave the door open, the dog will run away.

- ▶ 「~すると」という条件を表しているので、接続詞 if を使う。if 節の主語は、聞き手である「あなた」。
- ▶ leave は、あとに目的語と補語を続けて「OをCのままにしておく」という意味で使われる。
- ▶ if 節と主節はどちらを先に置いてもよい。if 節を先に置く場合は、主節の前にコンマを置く。
- ▶ 主節はこれから起こるかもしれないことを表しているので will を用いるが、条件を表す if 節内では、未来のことも現在形で表す。『条件節内の現在形』は、頻出事項。
- ▶ run away = 「走ってどこかに行ってしまう」、escape = 「(閉じ込められた所から)逃げる」「(危険な状態などから)逃げる」

6. (s)その申し出はすぐに(v)<sup>(受動態)</sup>却下されました。

The offer was turned down immediately.

- ▶ turn down = 「却下する」 immediately = 「すぐに・即座に」。
- ▶ 群動詞は受動態にする場合、セットのまま用いることを再確認しよう。
- ▶ 別解「申し出」は offer のほか、proposal や suggestion などでも表せる。
- ▶ ここではだれが「却下した」のかは問題でなく(示されておらず)、「申し出が却下された」ことが重要な情報であるため、受動態が適切。

各自、自分のノートを添削し、学習を深めよう！！  
Keep trying hard!!